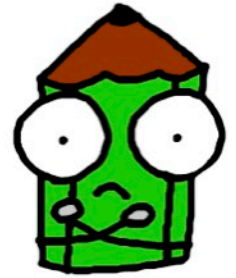


## <例題>

次の度数分布表を使って、①最頻値、②中央値、③平均値を求めなさい。

10歳～20歳未満	(15歳)	15人
20歳～30歳未満	(25歳)	28人
30歳～40歳未満	(35歳)	31人
40歳～50歳未満	(45歳)	13人
50歳～60歳未満	(55歳)	13人
合計		100人

数が多くなったぞ



①最頻値は最も度数の多いもの → 度数31人の『35歳』。

②中央値は「ど真ん中」。今回は合計が100人なので真ん中は50番目の人。(100÷2をすると真ん中が出るよ)  
→上から順に足して行って、50番目は『35歳』の所だ。

③平均値を出すには「全員の合計数」が必要だ。

→ 15歳×15人=225

25歳×28人=700

35歳×31人=1085

45歳×13人=585

55歳×13人=715

合計は3310。

そして全体の度数で割る

$$\frac{3310(\text{全員の合計数})}{100(\text{全体の度数})} = 33.1 //$$

意味が分かれば簡単だね！  
やり方も同じだし。

